


番号	答えと解説	
Q 1	<b>3位</b> 広島県、宮城県に次いで全国第3位です。	みなさ～ん！ できましたか？ 
Q 2	<b>昭和40年代</b> 実は日生でカキオコが始まった時期の記録はありませんが、お好み焼き店の話では日生でカキの養殖が始まった頃ではないかと言われています。	
Q 3	<b>グリコーゲン</b> カキは、タウリン、グリコーゲン、ナトリウム、カリウム、カルシウム、ビタミンE、ビタミンB3などを含んでいます。	
Q 4	<b>ゴジャバコ屋</b> ゴジャバコは日生弁で「無茶苦茶なこと」という意味です。活動当初はカキオコがこんなにブームになるとは思われなかったのが、こんな名前になったのでしょうか。	
Q 5	<b>渡辺さん</b> 日本を代表するメキシコ料理のシェフで、東京代官山のメキシコ料理店「La Casita (ラ・カシータ)」のオーナーの渡辺庸生氏です。	
Q 6	<b>カキめし</b> 「瀬戸内海のミネラルいっぱい・・・」で始まるこの唄のサビで、「酢ガキ、焼きガキ、カキフライ、カキ鍋、カキめし、カキお好み焼き、冬の岡山カキが名物、食べに来られえ岡山かきづくし」と歌います。	
Q 7	<b>さしみ醤油</b> カキフライソフトは五味の市の中の売店で売っていますが、売り子のおねえさんいわく「これかけるとチーズ味になります」とのこと。興味と勇気のある人は試してみてください。	
Q 8	<b>浜松</b> この4人組は決まってJRに乗って日生に現れ、大量にお土産を買って発泡スチロールに詰め込んで、駅の近くでカキオコを食べて帰って行きます。不思議です。	
Q 9	<b>明石焼き</b> いつの日か「どっちの料理ショー」で明石焼きと対決して勝つことが夢です。(実は、今もそうですが、番組が終わりました。)	
Q 10	<b>なんとなく</b> 作者によると、ただ「なんとなくそうになっている」のだそうです。	

10問正解の人 ……「一級カキオコ博士」を自称できます。

